

**幕張新都心モビリティコンソーシアム 第6回総会
議事要旨**

時間： 2023年6月5日(月) 10:00～11:10

場所： 千葉市役所新庁舎（高層棟2階）XL会議室 201～203/オンライン併用

議題

- (1) 座長の決定
- (2) 2023年度コンソーシアム運営体制
- (3) 個別事業報告
- (4) 2023年度千葉市事業
- (5) PT概要説明

配布資料

資料 幕張新都心モビリティコンソーシアム第6回総会資料

議事内容 () は発言者

1. 開会

2. 議題

- (1) 座長の決定
 - 千葉市より、今期の座長は前期と同様、東洋大学国際学部国際地域学科の岡村敏之教授に令和6年3月31日までの任期で再任することを提案。
 - 全員異議なし。
- (2) 2023年度コンソーシアム運営体制
 - 千葉市より資料に沿って説明。
 - 昨年度まで実施していたWGを廃止し、PTを中心に協議を行う。
 - 各PTリーダーを中心にテーマの設定等、主体的な活動を行う。
 - 現時点で3つのPT立ち上げ提案あり。
 - 自動運転バス社会実装PT（損害保険ジャパン株式会社様、アイサンテクノロジー株式会社様）
 - 巡回バス機能向上による回遊性向上PT（イオンモール株式会社様）
 - MASSIVE WORLD活用PT（Super Massive Global株式会社様）

(3) 個別事業報告

■ 電動キックボード

- 長谷川工業株式会社様に代わり、千葉市より資料に沿って報告。
 - 電動キックボードの実証実験は今年度6月末に撤退する。
 - 撤退の理由としては、令和5年7月1日施行の改正道路交通法により、新たな機体購入や改修が必要となり、費用負担が困難であることが挙げられる。
 - 今回の実証実験の総括として、平時の移動手段の利用が少ないことから、ビジネスモデルの構築が困難であったこと、交通量の関係で利用エリアが制限され、移動ニーズに応えられなかったことなどが挙げられる。

■ まくはり MaaS

- NTT ドコモ様より資料に沿って報告。
 - レコメンドなどにより一定の行動変容効果は確認でき、これを活用して、防災や混雑回避等に利用できると思われる。
 - 一方で継続的な利用が少なく、期待されるデータの収集には足りず、学習効果を得られなかった。
 - 経済活動だけではビジネスモデルの構築は困難であることから、今後、コンソーシアムの中でサービス設計からビジネスモデル創出まで持続できる MaaS の形を議論していきたい。

【質疑応答】

- (質問：東京海上日動火災保険株式会社様)
 - デイリーアクティブユーザについて、住民と来街者は性質が全く異なるが、区別せずに集計をとっている。その両者を分けて分析するとどのような結果となるか。
 - 住民の方が継続性をもって利用するターゲットになるため、いかに続けてもらうかについて、両者を分解して目的を考えていくのが良いかと思われる。
- (回答：NTT ドコモ様)
 - 住民と来街者では異なる課題が発生している。もう少しデータ集計が進んでくると、分けて分析もできると思われる。
 - 昨年実施した際は無料オンデマンドバスにより継続的な利用があった。継続性には、キラーコンテンツと呼ばれる日常的に使えるものを揃えていくことがポイントになる。

(4) 2023年度千葉市事業

■ 千葉市より資料に沿って説明。

- 国の交付金内示額が約 47%となっており、すべての事業を予定通りに行うのは困難。
- 企業版ふるさと納税による財源確保などの状況を見極めつつ、優先順位をつけて実施していく。

(5) PT 概要説明

- 損害保険ジャパン株式会社様より「自動運転バス 社会実装 PT」について説明。
 - 2025 年度に幕張新都心エリア内の自動運転バスの社会実装を目指していく。
 - 自動運転バスの経済的持続性の確保が重要な課題であり、この点を中心に議論していく。
 - コンソーシアムの皆さまには効果的なアドバイスやアイデアなど協力いただきたい。
- イオンモール株式会社様より「巡回バス機能の向上による回遊性向上 PT」について説明。
 - 現在行っている巡回バスについて、新しい技術により利用者の利便性・回遊性向上や事業者のコストを含めたメリットなどを見出していく。
 - 実証実験の時期は見込みとしており、協議の中で具体的な実施時期を検討していく。
 - コンソーシアムの皆さまには課題の共有や実証実験に向けた進め方について調整させていただきたい。
- Super Massive Global 株式会社様より「MASSIVE WORLD 活用 PT」について説明。
 - 今開発している一連のブロックチェーンゲームのアプリを使用して、エリア内の回遊性向上を測定していく。
 - コンソーシアムの皆さまにはクーポンの利用可否やアクセスポイントの設定など協議させていただきたい。

3. 連絡事項

- 事務局より、本日の資料及び議事要旨の千葉市ホームページへの公表について説明。10月ごろに中間まとめ報告会、来年3月に第7回総会を開催する旨説明。

4. 閉会

以上